

# 技能試験のしおり

2019.1~

技能試験は、正確な法令履行及び正確な運転操作によって、安全かつ円滑な走行ができるかどうかについて行うほか、道路及び交通の状況に応じて他の交通に気配りしながら自主的な運転ができるかどうかについて観察します。

## A ◎試験の範囲

ドアを開け、乗車してから試験コースを完走し、下車後、ドアを閉めるまでです。

## B ◎ならし走行

試験実施時に、車に慣れるため一定区間ならし走行をしてもらいます。

## C ◎合格基準

- 二種免許・・・80点以上
- その他の免許・・・70点以上

## D ◎コースの幅員等による優先順位

- コースはすべて車道です。
- 1 周回の3車線の道路（優先道路とみなしている。）
  - 2 幹線の4車線の道路
  - 3 中央線だけの道路
  - 4 中央線のない道路

通行帯のある道路は、第一通行帯を、その他の道路も左側を通行してください。

## E ◎コースの指定及び走行順路等

試験コースは直前に指定しますが、走行順路は教示します。

※路上試験中、全面通行止め等で正規な通行ができない場合は、試験コースの一部変更又はコースを変更して試験をやり直す場合があります。

## F ◎試験の課題

- 1 上り坂の停止、発進・・・指示された場所で停止し、直ちに発進してください。
- 2 指示速度・・・周回コースの指示された区間内では、次の速度を出してください。
  - 普通車・準中型車・・・50 km/h
  - 大型車・牽引車・・・45 km/h
  - 大特車・・・25 km/h
- 3 脱輪時の措置  
車輪が縁石に乗り上げたり、コース外に脱輪した場合は、直ちに停止して、もとに戻ってください。
- 4 周回カーブの速度  
周回コースのカーブの中でブレーキを掛けないように手前で十分減速してください。
- 5 直線コースの速度  
周回や幹線コースの見通しのよい直線道路では、コースの長さに応じて十分な加速をしてください。
- 6 縦列駐車の方法
  - コースと平行に停止した後、後退でポールとポールを結ぶ線の内側に入れてください。
  - 駐車が完了したらその旨の意思表示をし、「試験官の発進合図」で発進してください。
- 7 狭路コースの切り返し  
曲線、屈折、方向変換、縦列駐車の狭路コースでは、それぞれ入口から出口までの間の1回の切り返しは減点しません。2回で5点減点、3回で10点減点、4回で試験中止です。
- 8 牽引車の方向変換  
方向変換のため後退を終了したとき（牽引車と被牽引車とを直線状態にして停止してください。）は、その旨の意思表示をし、「試験官の発進合図」で発進してください。

## G ◎出発点の安全措置

乗車したら、次のことを確実に行ってください。

- 1 シートの調整
- 2 シートベルトの装着
- 3 ルームミラーの調整

H ◎出発の方法  
発進する場合は、右の合図を上げ、周囲及び右後方を直接目視により安全を確認してください。  
(エンストやギアを入れ間違えた場合は、時間が経過するのでやり直してください。)

I ◎停車の方法  
普通車の路端への停車時は、シフトレバーはニュートラル(AT車はP)、サイドブレーキを引き、ブレーキペダルによるブレーキを効かせること。

J ◎駐車の方法  
発着点に帰ってくる場合は、左の合図をあげ、左側の路側帯にできるだけ近づけ、前方のポールに車体前部を合わせてください。

K ◎降車の方法  
降車するときは、①ハンドブレーキを引き ②ギアをバックに入れ ③エンジンを切って ④後方の安全を確認後、下車してください。

## L ◎安全確認の場所及び方法

- 1 交差点での確認  
見通しのよい交差点での確認は、その交差点の、右・左の見通しのきく所で、遠方まで確実に確認してください。  
見通しの悪い交差点では、交差点に入ろうとするときから、見通しのきくところまで最徐行で出て右・左を確実に確認してください。
- 2 進路変更時の確認
  - 右折や障害物等により、右方に進路を変更する場合は、十分手前から、①ルームミラー、②右バックミラー、③右バックミラーに写らない右側死角の部分を見直接見ることにより確認してください。
  - 左方に進路を変更する場合は、①ルームミラー、②左バックミラー、③左バックミラーに写らない左側死角を直接目視してください。
- 3 巻き込み確認  
左折する際、二輪車や歩行者との事故を防ぐために、交差点の直前から左折を始めるまでの間に左側方をバックミラーと直接目視により確認してください。
- 4 後退時の確認  
後退する直前に、後退する場所及び方向の安全を直接目視により確認し、後退中は周囲を直接目視により確認してください。
- 5 踏切での確認  
踏切での確認は、目と耳で行いますから、必ず運転者側の窓を開けて確認してください。

## M ◎右・左折の方法

- 1 左折  
先ず交差点の手前30mで合図をあげ、交差点に近づいたら、速度を十分落とし、交差点の確認、巻き込みの確認を行い、左側端を徐行してください。  
※合図は極端に早く、または遅くならないようにし、他車に迷惑をかけないようにしましょう。
- 2 右折  
先ず進路変更の合図をあげ、3秒間の進行中に「進路変更の確認」を行い、道路の中央に寄り、交差点の中心の直近の内側を徐行してください。  
中央線による地点は、交差点より30m位手前です。(進路変更は3秒間の進行距離に、中央に寄る距離等を加えると、早くから進路変更の合図をあげなければなりません)

## N ◎試験中の事故防止等

- 試験中は事故のないよう十分気をつけてください。
- 運転中の事故は、運転者の責任となります。
- 試験中やむを得ず試験官が補助ブレーキ(急ブレーキ)を踏むことがあります。

## O ※その他注意事項(お願い)

- 貴重品及び手荷物については必ず自己保管して肌身離さず行動してください。
- 試験車両に乗車する際は、貴重品及び手荷物についても必ず手に持って乗車してください。
- 体調不良の方(妊娠中の方等)は、受験前に申し出てください。

☆仮免許技能試験の受付時間は13:00~13:15です。